

一般社団法人日本老年歯科医学会
2019年度第3回理事会議事録

日時：2019年6月5日(水) 15:30～17:56

場所：仙台国際センター会議室3

出席：佐藤裕二 理事長

羽村 章、那須郁夫 両副理事長

上田貴之、櫻井 薫、下山和弘、水口俊介、渡邊 裕、石黒幸枝、岩佐康行、大野友久、小笠原正、小野高裕、柏崎晴彦、菊谷 武、阪口英夫、菅 武雄、高橋一也、竹島 浩、戸原 玄、服部佳功、平野浩彦、眞木吉信、山崎 裕、米山武義、各理事

森戸光彦、山根源之 各監事

陪席：北川 昇、和田 健、堀 一浩、伊藤誠康、潮田高志、大神浩一郎、中川量晴、梅本文二、小原由紀、大井 孝、森田一彦、宮原康太、赤松那保、水谷慎介、川本章代、遠藤眞美、田村暢章、岡田和隆 各幹事

欠席：松尾浩一郎、河相安彦、片倉 朗、植田耕一郎、弘中祥司 各理事

金澤 学、佐川敬一郎、尾崎研一郎、石川健太郎、阿部仁子 各幹事

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

佐藤理事長より、参集の御礼が述べられた。また、日本老年歯科医学会第30回学術大会の大会長およびスタッフへの大会準備の御礼ならびに各委員会の活発な活動に対する御礼がなされた。

III. 大会長挨拶

米山理事(大会長)より、参集の御礼が述べられた。

IV. 議長選出

定款第32条に則り、佐藤理事長が選出された。

V. 確認事項

1. 定足数の確認

上田理事(総務担当)より25名の出席がある旨報告があり、定足数〔定款第32条、理事現在数(30名)の2分の1以上の出席〕を満たしている事が確認された。

2. 配布資料の確認

佐藤理事より配布資料の確認がなされた。

3. 2018年度第9・10・11・12回理事会議事録

佐藤理事より資料を元に説明があり、確認された。

4. 2019年度第1・2回理事会議事録

佐藤理事より資料を元に説明があり、確認された。

VI. 協議事項

1. 役員等の選任について

1) 委員会委員一覧

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り承認された。

2) 支部長一覧

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り承認された。

3) 関係団体役員一覧

佐藤理事長より資料を元に説明があり、日本歯科医学会の理事および日本歯科医学会連合の会員代表者への本会からの選出者について、2019年7月1日より櫻井理事から佐藤理事長に引き継ぐ旨、日本歯科専門医機構に関しては佐藤理事長が担当する旨、日本歯科医学会の評議員3名を今後推薦する旨の提案がなされ、選任は佐藤理事長に一任する旨が承認された。

2. 学会功労賞の推戴について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り小正 裕名誉会員、野村修一名誉会員を学会功労賞に推戴することが承認された。

3. 2018年度事業報告及び収支決算について

上田理事より資料を元に2018年度の実業報告(案)が、渡邊理事より資料を元に2018年度収支決算(案)の説明がなされた。山根監事より監査報告がなされた。審議の結果、事業報告及び収支決算は案の通り承認された。

4. 2019年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

上田理事より資料を元に2019年度事業計画(案)が、渡邊理事より収支予算(案)の説明がなされた。審議の結果、事業計画及び収支予算は案の通り承認された。

5. 2019年度日本歯科医学会会長賞候補者の推薦について

佐藤理事長より櫻井理事を推薦することが提案され、案の通り承認された。

6. 新規入会者の承認について

佐藤理事長より資料を元に説明があり、案の通り277名の新規入会者が承認された。

7. 認定制度関連規則の改正について

大野理事より資料を元に説明があり、案の通り承認された。認定制度規程については2019年6月5日に制定および施行すること、委員会規程については2019年6月5日に制定し役員交代と併せて2020年6月20日から施行することが確認された。

8. 日本歯科専門医機構への対応について

佐藤理事長より資料を元に日本歯科専門医機構の現状の説明がなされた。本学会の専門医の内容を充実させ、専門医の人数を増加させる必要がある旨、新しい情報が入り次第情報を共有する旨の補足がなされ、日本歯科専門医機構への対応については継続審議とし、時々の対応は佐藤理事長に一任とすることが確認された。

VII. 報告事項

1. 会務報告

佐藤理事長より、本学会で口腔機能低下症に関する様々な活動を行っており、各種委員会より関連する出版物なども出されている旨の報告がなされ、各施設において口腔機能低下症の検査をより活発的に行ってほしい旨の補足がなされた。

2. 総務報告

上田理事より資料を元に、都道府県別の会員数の偏りが多いため、支部組織を中心に各支部の会員数を増加させる取り組みを行ってほしい旨の報告がなされた。加えて、新規入会者が445名と多いものの、退会者も208名と多いため、学術大会の内容を充実させて入会者数を増加させることともに、退会せずに継続して会員となってもらうために、認定医や専門医を積極的に取得するように促してほしい旨の説明がなされた。また、過去2年間の会費未納者リストを元に、会費未納者に対して、会費の納入を促してほしい旨の説明がなされた。

3. 学術報告

1) 学術委員会報告

水口理事(委員長)より、資料を元に2018年度の活動内容および2019年度の活動計画が説明された。2019年度は口腔機能低下症のプロモーション活動と再評価、在宅歯科診療に関するエビデンス構築への貢献などを行っていく旨の補足がなされた。

2) 学会設立30周年記念大会/第31回学術大会

水口理事(大会長)より、資料を元に学会設立30周年記念大会/第31回学術大会の準備状況の報告がなされた。佐藤理事長より、多くの会員に参加してもらえるように協力してほしい旨の補足がなされた。

3) 第32回学術大会

佐藤理事長より資料を元に、第32回学術大会の準備状況の報告がなされた。

4) 2018年度老人保健健康増進等事業

渡邊理事より資料を元に、2018年度老人保健健康増進等事業の報告がなされた。

5) 2019年度老人保健健康増進等事業

渡邊理事より、2019年度老人保健健康増進等事業について、現在申請中である旨の報告がなされた。

6) 2018年度厚生労働省委託事業

水口理事より資料を元に、2018年度厚生労働省委託事業の報告がなされた。

7) 2019年度厚生労働省委託事業

水口理事より資料を元に、2019年度厚生労働省委託事業を落札した旨の報告がなされた。

8) 2017-2018年度 日本歯科医学会プロジェクト研究

水口理事より資料を元に、2017-2018年度 日本歯科医学会プロジェクト研究の最終報告がなされた。

9) 2018-2019 年度 日本歯科医学会プロジェクト研究

戸原理事より資料を元に説明があり、2018-2019 年度 日本歯科医学会プロジェクト研究の中間報告がなされ、本年度は研究実施のための施設統合および開口速度機の開発を行った旨の補足がなされた。

4. 編集報告

中川幹事より資料を元に説明があり、第 30 回学術大会の総説の依頼状況の確認がなされた。また、2020 年より、倫理的配慮が必要な研究を投稿する際は、倫理審査委員会の承認が必要となるため、大学もしくは学会の倫理審査委員会で必ず審査を受けるよう要請があった。また、「老年歯科医学」への積極的な投稿の依頼がなされた。

佐藤理事長より、学術誌のオンライン化について編集委員会で検討中である旨の補足がなされた。

5. 財務報告

渡邊理事より、厚生労働省委託事業や 30 周年記念事業など、年度をまたいだ予算があるため、30 周年記念事業終了後に財務状況を一度整理する予定である旨の報告がなされた。

6. 各種委員会 2018 年度活動報告および 2019 年度活動計画

1) 教育委員会

小笠原理事(委員長)より資料を元に説明があり、歯科訪問診療の卒前・卒後教育、大学病院の臨床実習実態のアンケート調査および結果の集計、「2015 歯学部教育基準」の改訂、参加型臨床実習マニュアル「移乗」の作成を行った旨、2019 年度は歯科衛生士学科教育基準案の作成および参加型臨床実習マニュアル「内視鏡実習」の作成を行う旨の報告がなされた。また、歯科訪問診療の卒前・卒後教育、大学病院の臨床実習実態のアンケート調査の結果は、本年度中に「老年歯科医学」に投稿する予定である旨の補足がなされた。

佐藤理事長より資料を元に、教育基準改定案の説明があり、今後理事の方々の意見も踏まえて、新しい教育基準として発表する予定である旨の補足がなされた。

2) 社会保険委員会

菊谷理事(委員長)より資料を元に説明があり、2020 年度診療報酬改定における医療技術評価提案書を作成し、新規技術としては、終末期患者の歯科による口腔管理および歯科オンライン診療、既存技術としては、舌圧検査および口腔機能包括検査について提案した旨、選定療養として専用洗浄剤を用いた義歯の着色・沈着物除去について提案した旨の報告がなされた。

佐藤理事長より、日本歯学系学会協議会において提案書のブラッシュアップが行われる旨、医療技術評価提案書とは別に、要望書を提出することが可能であり、口腔機能低下症をより算定しやすくするために、要望書を提出する予定である旨の補足がなされた。

3) ガイドライン委員会

服部理事(委員長)より資料を元に説明があり、新規のガイドライン作成に係る業務として、①認知症患者の歯科診療ガイドライン、②口腔乾燥症の診療ガイドライン、③口腔機能低下症の診療ガイドラインの作成を行っている旨、既成のガイドライン保守に係る業務として、①摂食・嚥下リハビリテーションにおける診断支援としての舌機能検査法ガイドライン、②接触・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドラインに関して活動した旨の報告がなされた。佐藤理事長より資料を元に、「口腔乾燥症の新分類案」についての補足があり、服部理事より検討事項の検討が終了し次第、理事会へ提示する予定である旨の説明がなされた。

4) 在宅歯科医療委員会

菅理事(委員長)より資料を元に説明があり、①「高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン案」(日本老年医学会・日本在宅医学会・国立長寿医療研究センターが作成主体)の、老年歯科医学会に関連するCQテーマの外部評価者としての意見収集、②「在宅歯科医療テキスト」(日本老年歯科医学会主体)の編纂における、「地域包括ケアシステムに対応した在宅歯科医療展開論」についての意見収集を行った旨の報告がなされた。

5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会

戸原理事(委員長)より資料を元に説明があり、指定研修を第30回日本老年歯科医学会学術大会会期中の2019年6月8日(土)の14時から17時に東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科教授の香取幸夫先生をお招きして実施する予定である旨、ICT(情報通信技術)を応用し、オンライン診療での摂食嚥下障害の診察導入を検討している旨の報告がなされた。

6) 国際渉外委員会

小野理事(委員長)より資料を元に報告があり、台湾老年歯科医学会(TAGD)から提案された交流促進案についての検討およびヨーロッパ老年歯科医学会(ECG)から提案された2019年学術大会における本会担当セッションへの講師推薦についての検討を行った旨の報告がなされた。また、2019年5月に行われたECG2019年学術大会の本会担当セッションにおいて本会より7名の講師が30分ずつ、日本の高齢者歯科の臨床および研究について発表を行った旨、第30回日本老年歯科医学会学術大会においてTAGDよりポスター発表4題、口頭発表2題の発表が行われる旨の補足がなされた。

7) 広報委員会

伊藤幹事より資料を元に説明があり、ニュースレターの発行、ホームページの更新、「口腔機能低下症」歯科医院向けパンフレットの頒布、会員向けメールマガジンの発信を行った旨、公式SNSアカウント運用ポリシー(案)を作成した旨の報告がなされた。

上田理事より、公式SNSアカウント運用ポリシーについては常任理事会で承認された旨、意見や修正などがある場合は広報委員会に連絡頂きたい旨の補足がなされ、SNSアカウント運用ポリシーは、規程集別冊に掲載することが報告された。

8) 研修委員会

潮田幹事より資料を元に説明があり、高齢者医療研修会を「認知症患者の口腔機能管理と栄養管理」をテーマとして2回(東京、福岡)行い、医師、歯科医師、栄養士の講師をそれぞれ呼び出して講演を行い、ミニレクチャーとして「口腔機能低下症の検査と診断」も行った旨の報告がなされた。

9) 学術用語委員会

眞木理事(委員長)より資料を元に説明があり、新出用語の選定・解説を含めた老年歯科医学用語辞典(第3版)の準備として、解説が必要な用語(新出用語や行政用語などを含む)を選定し、老年歯科医学に順次掲載している旨、日本歯科医学会学術用語集第2版の出版に関する協力として、用語集編纂作業の問い合わせに対し随時対応を行った旨、学会設立30周年記念学術大会における学術用語委員会企画のシンポジウムについて企画立案を行った旨の報告がなされた。

10) 歯科衛生士関連委員会

石黒理事(委員長)より資料を元に説明があり、歯科衛生士関連委員会主催セミナーの企画運営、認定歯科衛生士(老年歯科)周知のためのパンフレットの作成配布、認定歯科衛生士専門審査の実施を行った旨の報告がなされた。

上田理事より、本学会は歯科衛生士会員が544名と多く入会している為、多くの歯科衛生士会員が認定資格を取得するように促してほしい旨の提言がなされた。

11) 認定制度委員会

12) 認定資格委員会

13) 研修機関認定委員会

大野理事(委員長)より資料を元に説明があり、認定医、認定制度指導医、専門医、専門医制度指導医の4段階になっていたものを、認定医、専門医、指導医の3段階とする制度とするために、規則・細則の見直しを行い、素案が完成した旨の報告がなされた。第30回日本老年歯科医学会学術大会の会期中に行われる総会において、「認定制度規則 改訂の要旨」の資料を元に出席者に説明を行うことが確認された。

14) 認定試験実施委員会

柏崎理事(委員長)より資料を元に説明があり、2018年11月24日に専門医試験が実施された旨、2019年6月6日に認定医試験が実施される旨が報告された。

15) 専門医試験問題作成委員会

高橋理事(委員長)より資料を元に説明があり、専門医基準図書の見直しを行い、現行で出版から10年以上経過している書籍である①「口腔ケアガイドブック」(口腔保健協会, 2008)、②「高齢者歯科ガイドブック」(医歯薬出版, 2003)の2冊を外し、①「口腔の緩和医療・緩和ケア」(永末書店, 2013)、②「よくわかる高齢者歯科学」(永末書店, 2018)、③「かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門」(デンタルダイヤモンド社, 2018)の3冊を追加した旨、2019年2月8日に専門医試験に使用する専門医問題の作成依頼を代議員、専門医に行った旨、今後集まった問題のブラッシュアップを実施する旨の報告がなされた。

森戸監事より、前回実施された専門医試験において正答率0%の問題が50問中3問あったとの記載があることから、その問題が指導医として本当に必要な知識を問う問題であったのかを検討

する必要があるのではないかとの提言がなされた。上田理事より、該当問題を検討し、専門医として必要な内容であるならば、専門医研修のテーマにするなどの検討をする必要がある旨の付言がなされた。

16) 多職種連携委員会

岩佐理事(委員長)より資料を元に説明があり、研修委員会とともに「多職種連携入門研修」の開催について準備を進めている旨の報告がなされた。

17) 支部組織・地域保健医療福祉委員会

平野理事(委員長)より資料を元に説明があり、支部セミナー開催の支援、委員会主催シンポジウムおよび支部長会の開催を行っている旨の報告がなされた。また、山形、佐賀、宮崎の3支部の支部長が不在の為、適任の方がいたら推薦してほしい旨の補足がなされた。

18) 学会間連携委員会

上田理事より資料を元に説明があり、「抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン」WG(日本有病者歯科学会)の担当者が岩渕博史先生に、「歯科診療における静脈内鎮静法ガイドライン」WG(日本歯科麻酔学会)の担当者が深山治久先生に交代となった旨の報告がなされた。

19) 表彰委員会

米山理事(委員長)より資料を元に説明があり、各表彰事業の募集、選考委員会の設置、評価の回収と集計、受賞候補者の選出と理事会への上程を行った旨、優秀課題口演賞について、一次審査を通過したコンペティション参加演題の発表者には感謝状を授与することとし、それに伴い優秀課題口演賞選考細則を一部改正した旨の報告がなされた。

20) 規程委員会

阪口理事(委員長)より資料を元に説明があり、発議された改訂事項の審議を実施した旨の報告がなされた。

21) 倫理委員会

竹島理事(委員長)より資料を元に説明があり、2018年の4月より「臨床研究法」が施行されたことに伴い、ニュースレターに「倫理に関する基本的な啓発」の掲載を5回掲載(全10回連載予定)した旨の報告がなされた。また、2020年度より倫理的配慮が必要な研究を学会で発表する際は、倫理審査を必ず受ける必要がある旨が補足された。

22) 倫理審査委員会

山崎理事(委員長)より資料を元に説明があり、本学会が審査する臨床研究や、倫理審査を明確化するためのフローチャートをホームページ上に掲載した旨、倫理審査委員会の人文・社会科学の有識者の委員として弁護士の小畑真先生が加入した旨、2019年度は倫理委員会と協力して、第31回学術大会の演題登録における倫理審査に関する啓発を行う旨の報告がなされた。また、倫理審査が必要になる事に伴い、症例発表の形式での発表が増加することが考えられるため、どこまでを症例発表と認めるのかなどについて、今後検討する必要がある旨の補足がなされた。

平野理事より、倫理審査に関して、開業医の先生方はなかなか馴染みもなく、いきなり倫理審査を受けていないと発表できないとなると、発表者が激減してしまうことも考えられるため、移行的な対応も検討が必要である旨の提言がなされた。上田理事より、倫理審査について様々なチャネルで会員に周知している旨、会員のサポート策等については検討している旨の説明があり、12

月には演題募集が開始されるため、それまでには方針を決定する必要があることが確認された。また、倫理審査を申請する場合、共同研究の形をとるなど、可能な限り大学や施設の倫理審査委員会に提出していただきたい旨、2019年9月12日に倫理審査に関する会議が行われるため、追加で検討するべき点があれば事務局に連絡いただきたい旨の補足がなされた。

23) 利益相反委員会

上田理事より資料を元に説明があり、利益相反がある時のみ抄録や論文の末尾に「COI 関係あり」と記載していたが、利益相反がない場合は「COI 関係なし」と記し、ある場合は「COI 関係あり；〇〇株式会社」と記載するように変更となった旨が報告された。

羽村理事より、COI 関係があってはいけないということは全くなく、COI 関係の有無を明確にしてもらうために行っているの、ご理解頂きたい旨の補足がなされた。

24) 特任委員会

下山理事(委員長)より資料を元に説明があり、代議員定数を「170名以上 220名以内」から「170名以上 260名以内」へ改訂することが2018年度第9回理事会で承認されたため、2019年6月7日に行われる定時社員総会へ、「定款」「代議員選出規程」の改訂を上程する旨の報告がなされた。

7. 日本歯科医学会報告

櫻井理事より、日本歯科医学会会長選挙が行われ、住友雅人先生が次期会長に選出された旨、執行部は会長一任となった旨が報告された。

8. 日本歯科医学会連合報告

櫻井理事より、日本歯科医学会連合の事務所が移転した旨、第3回大型医療研究推進フォーラムが2019年5月25日に開催された旨、歯科医療臨床ニーズマッチング会が2019年7月11日に開催される予定である旨が報告された。

9. 日本歯学系学会協議会報告

羽村理事より、2019年2月14日に歯学系学会社会保険委員会連合の活動に関する討論会が開催された旨、2019年6月13日に日本歯学系学会協議会の総会およびシンポジウムが「災害歯科医療 役割と備え」というテーマで、日本歯科大学クラウン講堂で行われる旨の報告がなされた。

10. 歯学系学会社会保険委員会連合報告

菊谷理事より、私保連試案作成のためのフォーマットが届いた旨、今後の対応は社会保険委員会が行っていく旨の報告がなされた。

11. 日本老年学会報告

佐藤理事長より、国際老年学協会(IAGG)の第11回アジア/オセアニア国際老年学会議が2019年10月23日から27日まで台湾で行われる旨、歯科のセッションに本会から演者を派遣することになった旨、2023年に行われる第12回アジア/オセアニア国際老年学会議、2029年に行われる第23回国際老年学会議の日本への招致活動を行っている旨の報告がなされた。

VIII. 閉会の辞

那須副理事長より、活発な議論への御礼と閉会の辞があった。

以上